Press Release

アドソル日進

2020年6月16日

各　　位

東京都港区港南四丁目１番８号
会社名　アドソル日進株式会社
代表者名　代表取締役社長　上田　富三
問合せ責任者　取締役経営企画室長　後関　和浩
（東証一部・コード３８３７）
（TEL　03-5796-3131）

シュナイダーエレクトリック社との、「GIS（地理情報）」×「AR（拡張現実）」ソリューション販売開始のお知らせ

当社は、**ニューノーマル**を見据えた社会環境変化への対応と、**DX**（Digital Transformation）の更なる推進に貢献するため、**世界 100 カ国以上**で「**デジタルトランスフォーメーション**」事業を展開する「**シュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社**（本社：東京都港区、代表取締役社長：白幡 晶彦、以下「シュナイダーエレクトリック社」）が提供する「**シュナイダーAR アドバイザー**」と、当社が提供する「**GIS：地理情報システム**」をハイブリッドに融合・連携させた**新 GIS／AR ソリューション**を共同で開発し、提供を開始しましたので、お知らせいたします。

１．背景及び目的

国内製造業では「労働人口減少（就労人口の減少や、熟練社員の定年退職）」による、生産性の低下という課題に対し、デジタルデータや ICT の活用による解決に期待が集まっています。

工場や大規模プラントの整備・点検作業を「**AR：拡張現実**」で可視化し、作業の標準化・効率化を実現するシュナイダーエレクトリック社の「**シュナイダーAR アドバイザー**」に、当社が提供する「**GIS：地理情報システム**」の「地図情報」や「位置情報」を付加することで、作業員の現在地の特定、効率的な点検ルートの検索、誤って危険エリアに侵入した際の警報など、保守・点検作業をこれまで以上に、より効率化するとともに、高い安全性を実現する、**新 GIS／AR ソリューション**を共同で開発し、提供を開始いたしました。

２.「GIS／AR ソリューション」の特長

ポイントは、「**地図情報**」、「**位置情報**」、「**AR：拡張現実**」の融合です。

１）点検対象装置・設備を地図上に展開、作業員の**効率的な点検ルート**を表示する
２）**作業の完了状況**を、地図上で確認できる
３）プラント内の**危険エリア**を地図上に表示し、誤進入時にアラームを発報する
４）**高度な知識と経験**を必要とした保守・点検作業の**標準化**、**効率化**と高い**安全性**を実現

「**GIS／AR ソリューション**」が、「**要員の確保**」・「**働き方改革**」・「**熟練社員の定年退職に伴う技術継承**」などの課題を解決します。



3．今後の展開

1）国内外の大規模プラントを保有する事業者様を中心に、「**共同提供**」してまいります。
2）「**AR アドバイザー**」を取り扱う、**国内有数のパートナー企業様**と協業してまいります
3）「**GIS／AR ソリューション**」の、**機能拡張**に取り組みます。
4）当社の様々な IoT ソリューションと連携した、「**新ソリューション開発**」に取り組みます。
5）道路や送電網など、広域エリアを対象とした保守・点検作業の効率化を実現する「**ソリューションの開発・提供**」に取り組みます。
6）上記のほか、様々な領域での協業や連携を目的に、両社は「**販売パートナーシップ**」を締結します。

4．「シュナイダーエレクトリック社」について

本拠地	・フランス（Schneider Electric）
事業展開	・世界 100 カ国以上
事業概要	・ビル、データセンター、基盤インフラ、産業向けに、エネルギーマネジメントと、オートメーションの「デジタルトランスフォーメーション」を推進 ・電力管理（低・高電圧およびセキュアパワー）と、オートメーションシステムの分野で、名実ともに業界のリーダー ・エネルギー、オートメーション、ソフトウェアを組み合わせ、統合された効率化システムを提供 ・グローバルなエコシステムの中で、オープンプラットフォームを活用しさまざまな企業や開発者コミュニティと連携し、リアルタイム管理や高効率な運用を実現 ・技術革新・多様化・持続可能性へのコミットメントを通して、いつでも、どこでも、だれにでも「Life Is On」を実現
ウェブサイト	https://www.schneider-electric.com/jp

5.「シュナイダーAR アドバイザー」について

シュナイダーAR アドバイザーは、拡張現実(AR)技術により工場やプラント設備での保守作業を可視化するとこで、効率化と人的ミスの防止を実現するソリューションです。

現場からさまざまなデータへの迅速なアクセスを実現し、作業効率の向上を可能にするとともに、経験や勘に頼らないメンテナンスがオペレーターの安全性向上にもつながり、昨今の働き方改革や生産性の向上を支えるソリューションの一つとして、注目されています。

URL：https://www.proface.com/ja/solution/AR/top

6．アドソル日進の「GIS：地理情報システム」について

アドソル日進は、幅広い業種のお客様に、様々な用途（マーケティング、資産管理、輸送ルート設定など）で「**GIS：地理情報システム**」を提供しており、これらの実績を**パッケージング／テンプレート化**しております。

今後もアドソル日進は、「GIS：地理情報システム」を、長年培ってきた実績やノウハウをベースに、コンサルティングから、システム設計・開発・活用・分析など、「ワンストップ＆短期間」で、ご提供してまいります。

※**GIS：Geographic Information System（地理情報システムの略）**。

- 地図情報に様々なデータをトレース、一元化・可視化し、地図上にビジュアルに表現します。
- 「業務効率化によるコスト削減」・「最適な意思決定」・「コミュニケーションの向上」などに貢献します。
- マーケティング、行政、防災、交通、教育、医療など、あらゆる分野で利用が進んでいます。

ご参考　アドソル日進の「GIS：地理情報システム」
https://www.adniss.jp/sunmap/

以上

本製品に関するお問い合わせ先：
アドソル日進株式会社
IoT ソリューション本部 デジタル・イノベーション事業部
TEL　：　東京：03-5796-3139
大阪：06-7178-3121
E-mail：IoTSolSalesDiv@adniss.jp

報道関係の本資料に関するお問い合わせ先：
アドソル日進株式会社　経営企画室　広報・IR 担当
TEL（代表）：03-5796-3131
e-mail：ir@adniss.jp